

中ノ茶屋、辛皮、岩戸・平石、関ヶ淵・竹の本地域実質化された京力農場プラン

市町村名	地域名	(該当集落名)	当初作成年月	更新年月
宮津市	上宮津	小田1区～4区	令和5年3月	—

1 対象地区の現状

a 地区内の耕地面積	17.80 ha
b アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕地面積の合計	9.58 ha
c 地区内における <u>80歳以上</u> の農業者の耕作面積の合計	4.60 ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	2.75 ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	0.20 ha
d 地区内において今後中核的担い手が引き受ける意向のある耕作面積の合計	ha
e 地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	ha
(備考)	
dは、5年以内に引受意向のある面積	

2 対象地区の課題

課題

市南部の大江山山麓に位置する上宮津小田1区～4区は、典型的な中山間地域で農地面積約18haのうち、1区及び4区の6.7haがほ場整備済になっているが、法面は高く、ほ場環境は大変厳しいものがある。耕作者の年齢もそれぞれ70歳以上であり、4地区の平均では75歳を超える状況にある。近年、獣害対策は必須となっており、米価の低迷もあり、何とか農地を維持されているが、今後、現在の自己完結型の農業では地区全体の農地を維持することは困難な状況にある。

今後は、機械の共同化や効果的な補助金の活用などを考えるとともに、農地の集積・集約化を推進していく必要がある。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

中核的担い手を中心に農地集約による農地利用の効率化を進める。